

# OISA NEWS

OITA  
INFORMATION  
SERVICE INDUSTRY  
ASSOCIATION

2021. 3

78

発行：大分県情報サービス産業協会  
会長 森 秀文  
<http://www.oisa.jp>  
編集：広報委員会  
事務局：大分市城崎町2-6-31  
(大銀コンピュータサービス(株)内)  
TEL (097) 537-5918  
FAX (097) 534-4545  
印刷：佐伯印刷株式会社

大分県情報サービス産業協会



## CONTENTS

会長挨拶	2
第27回OISA研修の実施	3
第32回OISA技術交流会開催	4
新入会員紹介	5
第29回サウンズコンテスト	6
第16回IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2020	8

城址公園 (大分市)

# 会長挨拶



大分県情報サービス産業協会  
会長 森 秀文

皆様には大変ご無沙汰しています。日頃より県下の情報サービス産業の発展と協会活動に、ご支援・ご協力を賜り、紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で、社会全体が多大なインパクトを被り、戦後最大の経済の落ち込みに直面しました。また『10年かかる変化が1年で』と言っても過言ではないほど多くの変化がありました。三密回避、巣ごもり、テレワーク、リモート会議、非接触。このように経済の構造が変化する中で、新しい生活様式がニューノーマルとなり、世の中が激動し価値観が変転する様を見せつけられました。

今やテレワークができるのは当たり前になり、仕事はリモートでこなし、地方でバケーションを楽しむといった、ワーケーションが進んでいくことが予想されます。ドローンやアバター等も活用して、地域の課題解決や、新しいビジネスの芽を育てていきたいところです。

大分空港がアジア初の水平型人工衛星打ち上げシステムの発進基地、宇宙港になるというビッグニュースもありました。新たなチャレンジの1つで、夢が膨らみます。オープンイノベーションや、SDGsの取り組みなども、地域の社会や経済の未来を描くうえで重要なキーワードとなります。

この様な中、当協会におきましては、一昨年30周年を経て、新たなステージに立っています。秋にはデジタル庁が創設され、社会はあらゆる分野でDX\*が求められています。多くの企業ではDXに活路を見出し、不確実性と対峙しつつも、事業競争力を高める取り組みを開始しています。DXがビジネスを飛躍させる為の大きなチャンスとなっています。進化する技術についていける高度人材の育成は無論、経営者のITリテラシーの向上もキーとなります。経営者自らが『デザイン思考』である事、共創することが極めて重要になってきました。

※DX

Digital Transformationの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること（経済産業省：「DX推進指標とそのガイダンス」より）

これまでの協会の取り組みとしては技術交流会、研修会、大学との共同研究、発表会等に加え、コンピュータを活用して音楽文化の発展に寄与する目的で、サウンズコンテストを開催し、今年度は全国から過去最高の応募をいただきました。IPAが主催する『ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール』に後援している県警本部様とともに、県下の中・高生のインターネットの安全利用、健全育成を目的に、講演活動や表彰等を行っています。

これらに加えて、協会の持つ高い技術力と先進的な取り組みを生かし、激動の時代の先頭に立ち、協会、関連団体、関係機関の皆さんが抱える潜在的な課題の解決と、新たな価値の創造に全力で取り組むことが求められています。

2021年度は、多様性と競争の結集力で課題解決を図り、激変する社会、技術、不安定な世界経済の中で、新たな成長に向けて協会一丸となって挑戦してまいります。

結びに各社の発展と、皆様のご健康、ご多幸を祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。

# 第27回 OISA研修の実施

## ～ご参加ありがとうございました～

今年度の研修は、コロナ禍にありましたが、例年通り11月に開催することができました。

今回の研修については、4月にアンケートが実施できなかったため、昨年度の研修終了後のアンケートで要望の多かった「セキュリティ」と「プロジェクトマネジメント」に絞り実施させていただきました。

下記日程にて無事終了いたしましたので、ご報告いたします。

### プロマネに求められるヒューマンスキルの活用(1日コース)

開催日：2020年11月13日(金) 参加16名(9社)

OISA研修初のオンライン研修として、Zoomを利用して実施しました。

プロジェクトマネジメントのリーダーシップ強化のため、ヒューマンスキルを活用したコミュニケーションの実践ポイントを講義と演習を交えながら学習し、ステークホルダー別コミュニケーションやコーチングなどを理解し、プロジェクトに関わる人とのより良い関係性構築に役立つスキルを習得することを目的としました。

受講者からは「非常に勉強になりました、とても有意義な研修でした」「Zoomでのグループ討議は初めての試みで、戸惑いながらも面白味があり良かったです」等のコメントをいただきました。



Zoomを利用した研修の様子

### ボードゲームで学ぶサイバーセキュリティ(1日コース)

開催日：2020年11月25日(水) 参加16名(9社)



受講者には、コロナ感染予防にご協力いただいた中での集合研修として実施しました。

最近のサイバーセキュリティ脅威を把握し、その対策を理解するとともに、セキュリティインシデントと対策の相関関係を理解する事を目的としました。さらにコロナ禍で話題となったテレワークなどの最新情報などタイムリーな話題も提供してもらいました。また、「サイバーセキュリティボード」を活用した演習の時間を多くと

る事で、色々なセキュリティの脅威、攻撃を想定しながら、事業展開とセキュリティ対策(事故対応含)のバランスをゲーム感覚で体感しました。

受講者からは「楽しみながらサイバーセキュリティの理解が深まった」「ボードゲームのクオリティが高く理解しやすかった」等のコメントをいただきました。

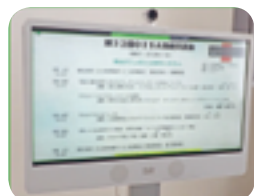


ボードゲームでの演習の様子

研修後のアンケート等も参考にし、これからも会員の皆様のニーズを反映した研修を企画していきますのでご意見、ご要望をお待ちしています。

(研修委員会)

# 第32回「OISA 技術交流会」開催



日時：2021年2月19日(金) 13:30～15:40  
場所：オンライン開催

OISA 技術交流会は、業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招くことにより、大分県における情報サービス関連技術の向上および発展を促し、更なる振興を図る事を目的に毎年開催されています。今回は、コロナ禍の影響で、オンラインで交流会を開催する運びとなりました。テーマとしてはテレワーク・リモートを選定し、産学官それぞれの領域から、ご講演いただきました。

24 団体 91 名の参加をいただき、大変活況を呈しました。



開会挨拶 谷口泰生委員長

\*\*\*\*\*

## 第一部

### 1. 富士通社内ITにおけるワークライフシフトへの対応について

講師：富士通株式会社 デジタルシステムプラットフォーム本部 副本部長 石橋 潤一 氏

富士通グループにおける全世界 13 万人のアクティブユーザーが利用するコミュニケーション基盤の安定運用の提供を行っており、新型コロナウイルス感染症拡大に対し、富士通の社内 IT はどう乗り越えてきたか、今後どうしていくかを中心にご説明いただきました。

富士通の会社としての役割と取り組みに関して、社員のテレワーク継続などによる感染防止対策を徹底し、コロナ直後のリモート環境増強の取り組みと状況、人事施策の動向をご紹介いただきました。

コロナ禍以前からの取り組みもあり、環境を準備していたことで、どうにか対応が進められたとのことでした。

今後は、社内 IT における今後の方針として、ゼロトラストを採用し、安全性を高めつつ、ユーザーエクスペリエンスの向上を図り、クラウドベースのテレワーク環境、業務フローを含めたペーパーレス化を進めていくとのことでした。

### 2. ゼロトラストセキュリティの基礎

講師：株式会社富士通九州システムズ セキュリティ&ソーシングソリューション本部 本部長 衛藤 敏寿 氏

ゼロトラストという言葉は数年前から注目されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大におけるリモートワーク対応を進めるにあたってキーワードとして多く聞かれるようになりました。最近のテレワーク普及とその脆弱性から起きたセキュリティ事故、クラウドサービスからの情報漏洩、サプライチェーンを狙った攻撃、「人」を狙った攻撃の巧妙化などの例を紹介いただきました。

テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃が増えているようです。背景には働き方の多様化、クラウド利用の拡大、デジタル化の推進など企業を取り巻く環境の変化により、対処すべき範囲の拡大とともに攻撃手口が複雑化、巧妙化している状況があります。ゼロトラストの考え方として、リソース、サービスに対するアクセスはすべて確認（検査）するとともに、守るべきサービス、データを分離し、特性に合わせた対策とともに人・デバイス・場所ごとの利用方針の決定と対策の実施が必要とのことでした。



## 第二部 大分でのテレワーク

講師：公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 事務局次長 小山 玄氏

総務省の調査結果としてテレワークの導入状況は、ここ10年は10%から20%の間で推移しております。導入しない理由として「テレワークに適した仕事がないから」が70%超であるとのことでした。これは単に仕事がないということではなく、仕事の中身、内容を棚卸し、再考することで対応可能な範囲は増えていくことをご説明いただきました。また、テレワークを導入する目的としては「労働生産性の向上」「業務の効率性（生産性）の向上」が上位となっており、感染予防という部分もあるが、「生産性向上」「新規雇用・離職防止」「ワークライフバランス向上」「コスト削減」「事業継続性確保（BCP対策）」など企業戦略としても推進していく必要があるとの事でした。国、県のテレワーク関連事業、助成金についてもご紹介いただきました。

## 第三部 新しい生活様式での教育・研究活動について（大学情報系コースの一例）

講師：大分大学理工学部 助教 大城 英裕氏

コロナ禍での大学現場の対応として、時系列に沿って大分大学の動向をご説明いただきました。学習支援システム「Moodle」を利用して、インターネット経由の学習環境教材配布、レポート課題、出欠、テスト機能の提供、時間や場所を選ばずに学習可能な環境を利用して、その効果と課題などご紹介がありました。また、第25回知能メカトロニクスワークショップについて9/7、8の2日間で開催され、新しい時代を見据え、今回初めてオンライン開催となったとのことでした。学生の研究活動と感染拡大防止を並行して実施するため、リモート環境からのインフラ整備の要請があり、リソースを分離したセキュアなオンラインプログラミングの実行環境を構築し、コンテナ仮想化技術や環境のレイヤー化を利用して実現しているとのことでした。



(技術委員会)

## 新入会員紹介



### 富士電機 IT ソリューション株式会社 大分営業所

所長 もりやま しんじ  
森山 信次

【事業内容】 コンピューターおよびその周辺機器、通信機器、計測機器、自動販売機、その他電気機械器具、事務機器、事務用品等の販売、リース、レンタル、保守、点検、修理、機器の据付工事  
情報ネットワークシステムの企画、開発、設計、販売、リース、保守、およびコンサルティング業務並びに管理、運営  
情報処理システムに係るソフトウェアの開発と仕入販売並びにシステムの保守  
電気工事、電気通信工事の企画、設計、監理、施工および保守

【所在地】 大分市寿町 5-20

【TEL】 097-573-9011

【FAX】 097-573-9012



### 西日本ロボット・ドローンセンター 株式会社テクノコンサルタント

取締役会長・センター長 いとう おさむ  
伊東 修

【事業内容】 ドローン開発、製造、サービス・非破壊検査・杭基礎品質調査・測量設計

【所在地】 大分市大分流通業務団地1丁目2-2

【TEL】 097-578-7811

【FAX】 097-578-7738

第29回

# サウンズコンテスト

日時：2021年1月23日(土) 13:30～17:00

会場：iichiko総合文化センター映像小ホール

ON THE COMPUTER

今年で29回目を迎えたサウンズコンテストOn The Computerは、1月23日(土)に大分市のiichiko総合文化センター映像小ホール(地下1F)で開催されました。

今回の応募曲は過去最高の223組261曲を数え、その中から厳選なる予選を通過したフリー曲部門24曲、トリニータ応援歌部門・ふるさと応援歌部門6曲の合計30曲で本審査を行いました。

今年はコロナ禍の影響から、開催自体が危ぶまれましたが、本選出場者を含め無観客で実施し、コンテストの模様をYouTubeでライブ配信を行いました。

ライブ配信の特性を活かし、本選出場者へのインタビューをGoogle Meetで行い、大変盛り上がりました。

また、YouTubeでのライブ配信の再生回数は総数で540回を超え、来場いただけなかった本選出場者を中心に好評をいただきました。



森会長挨拶



会場準備の様子 無観客(ソーシャルディスタンス)



参加スタッフ

## 審査結果

賞	氏名	地区	タイトル
グランプリ	Yuki 05music	埼玉県	Challengers
フリー曲部門 一般の部 1位	しみーる	大分県	木々の生命
フリー曲部門 一般の部 2位	松原 広	福岡県	弦楽の為の幻想小曲 ～アラン・ホールズワースの即興旋律による～
フリー曲部門 一般の部 3位	黒猫楽団	徳島県	A sunny day in the garden
フリー曲部門 学生の部 1位	るりう	兵庫県	君だけは汚れないで。
フリー曲部門 学生の部 2位	白神 大輝	神奈川県	Catchy & Groovy
フリー曲部門 学生の部 3位	野口 沙穂里	福岡県	Commemoration of 25
トリニータ応援歌部門 最優秀賞	大塚 考 浩	千葉県	蒼き風となれトリニータ
審査員特別賞	Mr.H	山口県	NEO TOKYO 2nd GAME 2099

今年もインターネットにより全国から作品を募ったことで、260曲を超える応募数となり、レベルの高い激戦となりました。その厳しい競争を勝ち抜き、みごとグランプリに輝いたのは、埼玉県のYuki 05musicさんの作品“Challengers”でした。

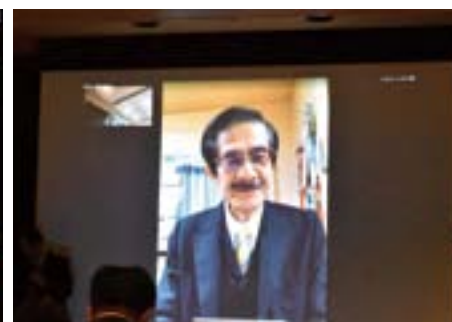
Yuki 05musicさんは今回の作品について、「ゲームのオープニングに出来そうな曲を作りました。主人公と仲間たちが、困難な冒険に挑戦する姿を表現しています。」とコメントしているとおおり、ゲームの世界観を充分に感じさせてくれる素晴らしい楽曲でした。



Google Meet によるインタビュー



審査中のイベント(過去作品の紹介)



田村審査委員長の講評



審査結果発表



【公開審査】フリー部門・一般の部

## トリニータ応援歌

今回も、大分フットボールクラブの後援による「トリニータ応援歌部門」を実施しました。どの曲も大分トリニータにふさわしい、今年のJ1での活躍を期待する気持ちのこもった楽曲が印象的でした。

その中で最優秀賞に輝いたのは、千葉県の大塚考浩さんの作品“蒼き風となれトリニータ”でした。

この曲は、今春開催される今シーズンのホームゲーム開幕戦前に大分フットボールクラブへ贈呈される予定です。そして、向こう一年間、大分スポーツ公園総合競技場(昭和電工ドーム)で開催される大分トリニータのホームゲームのBGMとして使われることになっています。

観戦に行かれる方は、試合前に流される音楽にもぜひご注目下さい。

## 審査委員

	氏名	審査歴	備考
審査委員長	田村 洋彦	25回目	大分大学名誉教授(音楽科)・東アジア作曲家協会顧問
審査委員	久保田 栄子	19回目	Oita Sound Creator協会 事務局長
審査委員	工藤 信司	1回目	ミュージシャン
審査委員	脇 誠	1回目	ミュージシャン
審査委員	眞名井 龍一	6回目	大分県情報サービス産業協会 事務局長

最後に、応募曲の編集、LIVE映像の配信、会場設営等で大変ご苦勞をおかけした日本文理大学関係者様、また、今回も多くの後援・協賛をいただきました各社様にも紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。

(イベント委員会)

第16回 IPA  
「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2020  
受賞作品発表!!  
たくさんのご応募  
ありがとうございました!

当協会も後援団体として協力しております「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」は、標語、ポスター、4コマ漫画等の応募作品制作を通して、児童・生徒・学生のみなさんが、情報モラルや情報セキュリティについて考える機会となるようIPA（独立行政法人情報処理推進機構）により毎年開催されています。

今回も全国から約6万点の応募がありました。今号では大分県内の受賞作品をご紹介します。受賞者の皆様おめでとうございます。

優秀賞〈大分県警察本部〉

標語部門

ネット上  
書くはたやすく  
二度とは消せず

中山 苺子さん  
中津市立城北中学校3年

デマがとぶ  
そしてそのデマ  
手間を呼ぶ

大村 浩輝さん  
大分県立大分上野丘高等学校1年

4コマ漫画部門

重野 凜さん  
白杵市立北中学校2年

優秀賞〈大分県情報サービス産業協会〉

標語部門

考えて  
自分の未来  
友だちのこと

山本 唯衣さん  
別府市立中部中学校2年

SNS  
気づけば僕は  
フリー素材

佐藤 稜真さん  
大分県立大分上野丘高等学校1年

4コマ漫画部門

重野 滯さん  
白杵市立北中学校2年